

平成28年度当初予算案主要事項(平成27年度2月補正予算含む)説明

京都府中丹広域振興局

事 項 名		㉗ 2月補正予算額	㉖ 2月補正予算額
(新規・継続) <b>拡充</b> 「海・森の京都」スポーツ・トレイル推進事業費		5,500千円	5,000千円
		特定財源 <b>加</b> 5,500千円	5,000千円
		一般財源	
趣旨・目的	移動手段そのものを楽しむ新しい観光スタイル「スポーツ・トレイル」の推進と「SEA TO SUMMIT」の開催		
<p>中丹地域の豊かな自然や京都『ゆらり』サイクリングロードを活かし、カヌーや自転車、登山等による移動手段そのものを楽しむ新しい観光スタイル「スポーツ・トレイル」を推進・定着させるため、自然の循環を体感する環境スポーツイベント「SEA TO SUMMIT」を開催するとともに、「カヌー」「自転車」「登山」の拠点化を目指す。</p> <p>1 「由良川 大江山 SEA TO SUMMIT」の開催【継続】  「SEA TO SUMMIT」を(株)モンベルと連携して開催し、全国のアウトドアスポーツ愛好家に向けて海・森の京都を発信  「由良川 大江山マルシェ」を同時開催し、参加者や家族等に魅力ある中丹の食や観光資源等をPR  【コース】神崎海水浴場(カヌー)～由良川沿川(自転車)～大江山頂上(登山)  【開催日程&lt;予定&gt;】10月1日(土)、2日(日)(2日間)  ・第1日目 環境シンポジウム(綾部) ※由良川 大江山マルシェ：2日間開催  ・第2日目 競技(カヌー → 自転車 → 登山)</p> <p>2 「JAPAN ECO TRACK」による情報発信【拡充】  中丹のスポーツ・フィールドとしての魅力を、全国のアウトドアに興味がある層に対し直接、情報発信するため、「JAPAN ECO TRACK」を活用し、(株)モンベル国内店舗(全国約100店)でのマップ掲出やモンベルフレンドフェアへの出展等によりPR</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「JAPAN ECO TRACK」(株)モンベルが提唱する、各地のアウトドアスポーツを楽しむコース(TRACK)の情報や地域の魅力を統一形式で発信し、国内外からの旅行者を中心に多くの人々の来訪を促す取組。</p> </div> <p>3 「カヌー」、「登山」拠点化の推進【拡充】  「カヌー教室」や「山歩き講習会」を開催し、スポーツ・フィールドとしての拠点化を推進</p>			
担当部・室名	農林商工部 商工労働観光室	部・室・電話番号	0773-62-2506

平成28年度当初予算案主要事項(平成27年度2月補正予算含む)説明

京都府中丹広域振興局

事 項 名	②7 2月補正予算額	②7 当初予算額
(新規・継続・ <b>拡充</b> ) 京都丹波ジビエ街道づくりセカンドステージ 事業費	7,000千円	5,100千円
	特定財源 <b>加</b> 7,000千円	
	一般財源	5,100千円

趣旨・目的	京都丹波ジビエの普及・販売の促進と安心・安全ブランドの確立
-------	-------------------------------

京都丹波ジビエの安心・安全ブランドを強化・確立するとともに、大消費地（首都圏及び京阪神）及び中丹地域で一斉にジビエフェアを開催し、普及定着を図る。

1 京都丹波ジビエイメージアップ戦略【拡充】

- (1) 地域イメージ定着に向けPR（ジビエ大使、ロゴマーク）【新規】
- (2) ジビエ料理を提供する飲食店のメニュー開発を支援。料理講習会の開催
- (3) 地域イベント等で一流シェフによるジビエ料理の提供やジビエ料理の販売
- (4) 飲食店が期間限定で一斉にジビエ料理を提供する「京都丹波ジビエフェア2017」の開催
- (5) 「京都丹波ジビエ推進ネットワーク」の設立【新規】

【役 割】 京都丹波ジビエの普及・定着に向けた企画・運営

【メンバー】 京都丹波ジビエに関わる狩猟者、食肉処理業者、飲食店

※27.9 振興局（農林商工部・健康福祉部）、食肉処理業者、狩猟者、飲食店で  
設立準備会を開催

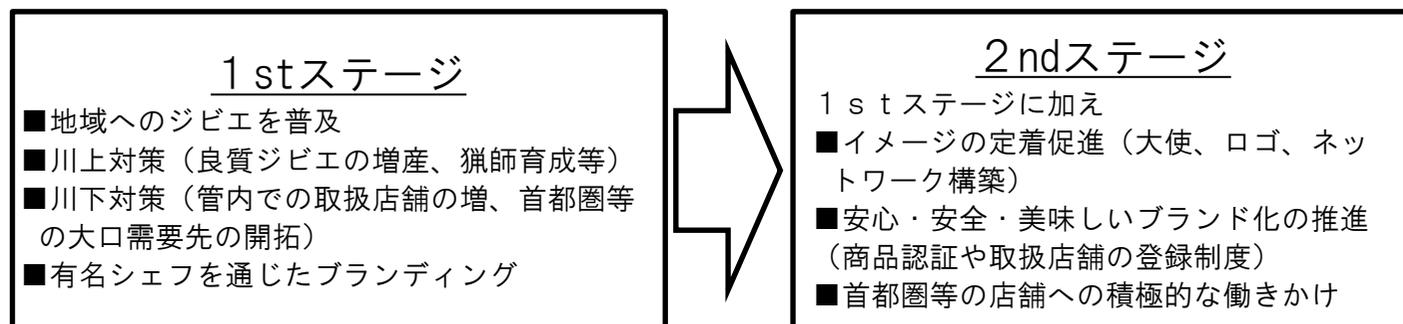
28.3 設立予定

2 京都丹波ジビエの安心・安全ブランドの確立【拡充】

- (1) 安心・安全・美味しいジビエの流通を目指し、商品認証や取扱店舗等の登録制度の創設【新規】
- (2) 狩猟者、食肉処理業者、飲食店等へ「野生鳥獣肉の衛生に関する指針（ガイドライン）」を周知徹底
- (3) 食肉処理業者や食肉処理業の許可を目指す狩猟者などの技能講習会を開催

3 首都圏等における京都丹波ジビエの普及・販売の促進【拡充】

- (1) 一流シェフを起用し、マスコミ関係者や料理人を集めた試食会を開催
- (2) ジビエ専門スタッフによる飲食店へのリクルーティング【新規】
- (3) 飲食店における京都丹波産ジビエを使用したジビエ料理一斉販売キャンペーンの展開



担当部・室名	農林商工部 企画調整室	部・室・電話番号	0773-62-2508
--------	-------------	----------	--------------

平成28年度当初予算案主要事項(平成27年度2月補正予算含む)説明

京都府中丹広域振興局

事 項 名		②7 2月補正予算額	②7 当初予算額
(新規) 継続・拡充) 森の京都ディステーションプロジェクト 事業費2-1		18,000千円	
		特定財源 (加) 18,000千円	
		一般財源	
趣旨・目的	森の京都の戦略的な展開		
<p>森の京都博の開催を契機に、中丹管内にある古道など眠れる資産を整備し観光誘客等に活かすと共に、森の京都博を盛り上げるコラボ事業等を開催し、森の京都のPRを実施</p> <p>1 大江山（復活！元伊勢古道と石畳古道） 8,500千円                      大江山の古道（石畳）を復活し、丹鉄の駅間を結ぶ周遊トレッキングルートを設定するほか、森の京都や大江山のPRや、パワースポット探しなどによる魅力づくりを実施</p> <p>(1) 幻の古道復活プロジェクト 【ハード整備】                      ① 未整備部分の整備・毛原峠（倒木撤去、安全対策等）                      ② 石畳の復旧整備等・今普甲道</p> <p>(2) 統一デザイン提灯（案）によるイメージアップ</p> <p>(3) 京阪神等の大学生等わかもん（100名）を誘致                      大江山のPRと集客等課題解決</p> <p>2 奥上林（ほら！トレッキングルート） 7,000千円 【ハード整備】                      京都丹波高原国定公園（仮称）指定に伴う、古屋、洞峠周辺の「枅の木」の群生を活かした、自然豊かなトレッキングルートの整備等</p> <p>■ 「日本の原風景」綾部東部、上林地域の交流基盤づくり                      遊歩道整備 公園道路等</p> <p>&lt;古道などトレッキングルートをつないで売り出す取り組み&gt;</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>海・森の京都エリア内の古道や国定公園の園路等トレッキング道や遊歩道</p> <p style="text-align: center;">まとめて 売り出す</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>インバウンド対策（日韓露フェリー）</p> <p style="text-align: center;"><b>海・森の京都 古道ナーブ</b></p> <p>古道と温泉・地場産品販売店など魅力的な施設と一体的に発信。韓国等からのトレッキングツアーを誘客。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【古道ナーブ】 ナーブとは神経や葉脈。エリアに広がる色々な古道・コースをノード（結節点）としてつなぎ合わせ、全体で売り出す。</p> <p>【コンセプト】 歴史などを楽しみながら古道を巡り、温泉や食事、買い物などが楽しめるコース。歩くことが楽しめる幅の狭い小道。厳しくなく子供や老人、女性も歩ける道。</p> </div>			
担当部・室名	企画総務部 企画振興室 農林商工部 地域づくり推進室 農林商工部 森づくり推進室 建設部 中丹東土木事務所 中丹西土木事務所	部・室・電話番号	0773-62-2031 0773-62-2505 0773-62-2586 0773-42-8763 0773-22-5811

平成28年度当初予算案主要事項(平成27年度2月補正予算含む)説明

京都府中丹広域振興局

事 項 名		②7 2月補正予算額		②7当初予算額					
(新規) 継続・拡充) 森の京都ディスティネーションプロジェクト 事業費2-2		18,000千円							
		特定財源	(加) 18,000千円						
		一般財源							
趣旨・目的	森の京都の戦略的な展開								
<p>3 森の京都「中丹・木のある暮らし体感ツアー」の開催 2,500千円                      森の京都の魅力の源である、森や木の魅力を人や現場で触れて伝える体感型誘客ツアーを開催。薪ストーブなどフォレストな暮らしに憧れる人などの移住・定住を目指す。</p> <p>○ツアー概要：8月開催、定員30名</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">森堪能コース</td> <td style="width: 20%;">1泊2日：参加料一人3,000円</td> <td rowspan="2" style="width: 30%; vertical-align: middle;">} 農家民泊</td> </tr> <tr> <td>「森+農+X」堪能コース</td> <td>2泊3日：参加料一人5,000円</td> </tr> </table> <p>○特徴：森と生き・田舎暮らしを实践する「ツアー案内人」が、自身の仕事や暮らしなど、その生き様をとおり、新たな魅力を発信</p>					森堪能コース	1泊2日：参加料一人3,000円	} 農家民泊	「森+農+X」堪能コース	2泊3日：参加料一人5,000円
森堪能コース	1泊2日：参加料一人3,000円	} 農家民泊							
「森+農+X」堪能コース	2泊3日：参加料一人5,000円								
担当部・室名	農林商工部 森づくり推進室	部・室・電話番号	0773-62-2586						

平成28年度当初予算案主要事項(平成27年度2月補正予算含む)説明

京都府中丹広域振興局

事 項 名		②7 2月補正予算額	②7当初予算額
(新規) 継続・拡充) 中丹STUDENT ACT 2016開催事業費		1,400千円	
		特定財源 (加) 1,400千円	
		一般財源	
趣旨・目的	将来を担う子どもたちの誇りと絆を築く		
<p>(趣 旨)</p> <p>中丹地域の小中高校生と大学生等が、多世代間などの新たなコラボ等のパフォーマンスを創り上げる過程やステージでの達成感などを通じ、「人と人」「人と地域」などの絆を深めることにより、自分・仲間・地域に誇りと愛着を醸成し、将来の移住定住につなげる。</p> <p>(概 要)</p> <p>1 コラボ・パフォーマンスづくり                      多世代間など、新たなコラボユニットの形成を目指した、グループのマッチングや合同練習会の開催（ステージイベントにコラボで参加）</p> <p>2 ステージイベント                      ・地域の小中高校生や大学生等によるコラボ等のパフォーマンスステージ                      ・開催予定場所：福知山市内</p> <p>※ 森の京都博「キッズダンスフェス」と同時開催</p>			
担当部・室名	企画総務部 企画振興室	部・室・電話番号	0773-62-2031

平成28年度当初予算案主要事項(平成27年度2月補正予算含む)説明

京都府中丹広域振興局

事 項 名		⑳2月補正予算額	㉑当初予算額
(新規) (継続) 拡充)		5,050千円	1,770千円
中丹ちょいなか暮らしづくり事業費		特定財源 (加) 5,050千円	
		一般財源	1,770千円
趣旨・目的	「人」の交流と絆を大切にした地域連携型の移住・定住促進		
<p>京都縦貫道の全線開通で都会からより近くなった中丹地域を、自然とまち中が近接する気軽に行ける田舎「ちょいなか」と捉え、北部と京阪神を人と人の絆で繋ぎ、農家民宿などの地域魅力や人の魅力をPR。都会からの移住定住や中丹ファンの増加を図る。</p> <p>1 人と人のきずなを活かした地域への誘致 4,000千円【新規】</p> <p>(1) 食や人の地域交流ワークショップ「海と森のキュイジーヌ」 京阪神の大学生等と地域料理や人によるワークショップを開催 (京都市内)</p> <p>(2) 地域人材の新たな掘り起こしと人の魅力による地域発信 住民主体でつくる『地域人材紹介コミュニティガイドブック(例:「中丹人」)』の作成支援(製作資金はクラウドファンディングを利用予定)</p> <p>(3) 京都市内等の大学生等のわかもんを組織化(「海と森の交京学団」) SNSを中心とした学生間ネットワークづくり</p> <p>2 地域の魅力づくりと移住・定住の推進 1,050千円</p> <p>(1) 移住定住セミナー開催: 3回/年・地域人材を派遣</p> <p>(2) 中丹田舎暮らし体感ツアー開催: 6回/年</p> <p>(3) 農家民宿説明会の開催</p> <p>(4) 教育体験旅行受入れ推進(地域体制の構築)【新規】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>キュイジーヌ(仏語) 地域の素材にこだわり、組み合わせやアレンジを工夫する料理・店舗</p> </div>			
担当部・室名	企画総務部 農林商工部	企画振興室 地域づくり推進室	部・室・電話番号 0773-62-2031 0773-62-2545

平成28年度当初予算案主要事項(平成27年度2月補正予算含む)説明

京都府中丹広域振興局

事 項 名		⑳2月補正予算額	㉑当初予算額
(新規・継続) <b>拡充</b>		4,000千円	530千円
中丹式インターンシップ事業費		特定財源 <b>加</b> 4,000千円	
		一般財源	530千円
趣旨・目的	仕事と地域の暮らしをまるごと体験できるインターンシップ		
1 趣 旨	管内3市、北京都ジョブパーク及び大学連携機構等と連携し、参加者が中丹地域で仕事や地域暮らしをまるごと体験することができる、中丹ならではの総合的なインターンシッププログラムをパッケージ型で提供するとともに、広く中丹地域をPRし、体験を共有することができる事業を展開し、プログラム参加者だけでなく、多くの中丹ファンの獲得を目指し、将来的な移住・定住者の増加につなげる。		
2 概 要	<p>○インターンシッププログラム「ローカルインターン」の実施【継続】</p> <p>仕事体験：管内企業や事業所でのインターンシップ                  地域暮らし体験：地域での多様な暮らしの場を体験（農業、地域行事等）                  《対象》現役の大学生等（大学連携機構等を通じて京阪神の大学等から募集）                  ※参加者の中丹地域での宿泊については、各市が支援</p> <p>○大学との連携強化【新規】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大学のインターンシッププログラムとの相互乗り入れにより、大学のインターンシップと一体となったプログラムを提供。</li> <li>※単位認定型を新たに設定</li> <li>一般財団法人地域公共人材開発機構が付与する地域公共政策士の資格認定要件を満たすプログラムを提供。</li> </ul> <p>○企業との連携強化【拡充】</p> <p>地域の立地大企業や地元企業と連携し魅力的なプログラムを提供。</p> <p>○地域との繋がりを強化するための新規施策</p> <p>(1)イントロダクション交流会の実施【新規】</p> <p>京都市内等で事業説明と併せて、地域の紹介や、地域の企業の代表者や地域住民と学生との交流、半農半Xセミナー等の場を設け、プログラム参加につなげるだけでなく、中丹地域と学生の人と人とのつながりを深める。</p> <p>(2)地域・企業・学生交流会の実施【新規】</p> <p>インターンシップ参加学生の体験共有を行いフォローアップを行うとともに、参加企業・地域の人と参加学生とのつながりが広がる取組をおこない、中丹地域のファンの増加を図る。</p> <p>☆地域・企業・学生交流会（1泊2日程度）</p> <p>インターンシップ参加学生等を中丹地域に招き、受け入れ側の参加企業・地域住民等も参加する体験発表会・交流会を開催することにより、参加学生と中丹地域の企業・人とのつながりを広げ、中丹地域への思いをより強めてファンづくりを進める。</p> <p>※数年間事業を継続することにより、体験共有・拡散を進めるとともに、将来的に大学主導の中丹地域におけるインターンシッププログラム作成・実施につなげていく。</p>		
担当部・室名	企画総務部 企画振興室	部・室・電話番号	0773-62-2031

平成28年度当初予算案主要事項(平成27年度2月補正予算含む)説明

京都府中丹広域振興局

事 項 名		⑳当初予算額	㉑当初予算額
(新規) <u>継続</u> 拡充)		1,000千円	3,000千円
中丹未来っ子ふるさと再発見事業費		特定財源	
		一般財源	1,000千円
趣旨・目的	未来を担う若者、子どもたちと地域住民の協働による地域活性化とふるさとづくり		
<p>管内地域で、若者や小中学生と地域住民等が協働で地域活性化の取り組みを行うことにより、地域を盛り上げると共に、地域を知り、地域と交流する中で、若者や子どもたちの地域を愛する心を醸成する。(将来、都会等からの移住やUターンに結びつける。)</p> <p>事業概要：高校生・大学生がコーディネーターとなり、公募で集めた地域活動に興味のある管内3市の小中学生と地元が協力し、地域体験や地域イベントへの参加などを企画・立案し実施</p> <p>実施地域：3か所程度を公募(各市1か所)</p> <p>参加者 ○高校生・大学生：大学生をリーダーに地域に入り、取組全体を調整・運営(子どもたちをサポート。大学生と高校生のワークショップで運営)</p> <p>○小中学生：地域体験や地域イベントへの参加等</p> <p>○地 元：取組への協力・協働</p> <p>全体事業費 5,000千円(日本財団補助4,000千円、一般財源1,000千円)</p> <p>※(公財)日本財団の「海でつながるプロジェクト2016サポートプログラム」を申請中 補助率80%</p>			
担当部・室名	企画総務部 企画振興室	部・室・電話番号	0773-62-2031

平成28年度当初予算案主要事項(平成27年度2月補正予算含む)説明

京都府中丹広域振興局

事 項 名	⑳当初予算額	㉑当初予算額	
(新規) 継続・拡充 こころの通う子育て地域再生事業費 (高齢者(シニア)による子育て応援事業)	800千円 特定財源 ㉒ 400千円 一般財源 400千円		
趣旨・目的	地域の人材である高齢者(シニア)等と子育て家庭等とのこころの通う地域コミュニティーを再構築		
<p><u>1 趣 旨</u></p> <p>就学前の子どもや親などを対象に高齢者の知恵や技を活用した交流会や知恵袋塾などを開催し、高齢者の活躍の場を増やし、地域全体で子育てを支える気運を高め、地域コミュニティーの再構築を推進する。</p> <p><u>2 事業概要</u></p> <p>(1) 知恵袋塾の開催                      地域の高齢者が指導役となり、就学前の子どもや親などを対象に「物づくり体験」(手工芸、木工等)や「語り部」、郷土料理の普及などを行い、子どもの情緒豊かな成長を育むとともに高齢者の生きがいを進め、地域コミュニティーの再構築を推進</p> <p>(2) 交流会の開催                      中丹管内の幼稚園児、保育園児等と知恵や技を持った高齢者などが交流するイベントを関係団体等と連携し開催</p>			
担当部・室名	健康福祉部 中丹西保健所 企画調整室・福祉室 中丹東保健所 企画調整室・福祉室	部・室・電話番号	0773-22-5744・22-3903 0773-75-0805・75-0856

平成28年度当初予算案主要事項(平成27年度2月補正予算含む)説明

京都府中丹広域振興局

事 項 名		⑳当初予算額	㉑当初予算額																
(新規・継続) <b>拡充</b>		800千円	800千円																
中丹子育て応援 プラスワン・エンジェル隊派遣事業費		特定財源 <b>推</b> 400千円																	
		一般財源 400千円	800千円																
趣旨・目的	育児不安を解消し、もう一人以上の子どもを持つ家庭を増やすため、「プラスワン・エンジェル隊」を派遣																		
<p>少子化が進行する中、夫婦が理想とする子どもの数を持たない理由のひとつに、育児経験・知識の不足や地域が共に子育てする力の不足による育児ストレスがある。</p> <p>保護者の育児ストレス解消と子育て力の向上を図るとともに、地域で支える人材を育成することにより、もう一人以上の子どもを望む家庭を、市や関係機関と連携し支援する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>実施会場 保育園・幼稚園等</li> <li>講 師 プラスワン・エンジェル隊(医師、臨床心理士、保健師等により編成)</li> <li>実施メニュー             <ol style="list-style-type: none"> <li>保護者対象応援隊派遣 <b>保護者の子育て力の向上!</b>                  対象：育児不安等を抱える未就学児の保護者                  内容：①子育て応援講話                  ②子育て悩み相談                  ③保護者座談会                  (専門家による育児ストレス解消のための講話、悩み相談等)  <b>【27年度実績】開催回数(12回) 参加保護者220人</b> </li> <li>中丹エンジェル支え隊応援講座の開催 <b>【新規】</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>保育士等対象の専門的研修会(子育て支援保育士研修会)                      対象：管内保育園(55箇所)の保育士等</li> <li>地域の支援者対象の学習会 <b>支援者の育成!</b>                      対象：子育て広場(サロン)等スタッフ(管内14箇所)</li> </ol> </li> </ol> </li> </ol> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>保護者の声：</b> <u>子どもとの関わり方を学ぶ機会がほしい。</u>  <u>地域の皆で育ててもらえる街であってほしい。</u></p> <p><b>支援者の声：</b> <u>自分たちが学び、お母さん・お父さんにしっかりと伝えたい。</u></p> </div>																			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p><b>プラスワン以上望む割合</b> (保護者アンケート結果 有効回答数 161人)</p> <table border="1"> <caption>プラスワン以上望む割合</caption> <thead> <tr> <th>現在の子供数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現在の1人</td> <td>89.7%</td> </tr> <tr> <td>現在の2人</td> <td>48.1%</td> </tr> <tr> <td>現在の3人</td> <td>10.0%</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div style="text-align: center;"> <p><b>理想の子供の数を持たない理由</b> (出典：第14回出生動向基本調査・国立社会保険・人口問題研究所 (経済的理由を除く))</p> <table border="1"> <caption>理想の子供の数を持たない理由</caption> <thead> <tr> <th>理由</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>健康上の理由</td> <td>37.9%</td> </tr> <tr> <td>年齢的理由</td> <td>35.1%</td> </tr> <tr> <td>育児ストレス</td> <td>17.4%</td> </tr> </tbody> </table> </div> </div>				現在の子供数	割合	現在の1人	89.7%	現在の2人	48.1%	現在の3人	10.0%	理由	割合	健康上の理由	37.9%	年齢的理由	35.1%	育児ストレス	17.4%
現在の子供数	割合																		
現在の1人	89.7%																		
現在の2人	48.1%																		
現在の3人	10.0%																		
理由	割合																		
健康上の理由	37.9%																		
年齢的理由	35.1%																		
育児ストレス	17.4%																		
担当部・室名	健康福祉部 中丹西保健所 保健室 中丹東保健所 保健室	部・室・電話番号	0 7 7 3 - 2 2 - 6 3 8 1 0 7 7 3 - 7 5 - 0 8 0 6																

平成28年度当初予算案主要事項(平成27年度2月補正予算含む)説明

京都府中丹広域振興局

事 項 名		⑳当初予算額	㉑当初予算額
(新規・継続・ <b>拡充</b> )		800千円	2,200千円
災害に強い中丹地域づくり事業費		特定財源	
		一般財源	800千円
趣旨・目的	過去の災害を踏まえた防災対策強化		
<p>1 趣旨</p> <p>平成26年8月豪雨被害については、「由良川流域（福知山市域）における総合的な治水対策協議会」による国、府、市の3者による河川と下水道が一体となった総合対策を進められているところである。</p> <p>ハード整備の対策と並行して、災害発生時における緊急避難の迅速化や関係機関の連携強化を図る対策に取り組むことにより、地域防災力の向上に向けた対策を強化する。</p> <p>2 事業内容</p> <p>(1) 地域防災リーダー研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時に地域住民先導役等の役割を担う防災リーダーの災害対応能力の向上を図る。</li> <li>・地域防災リーダーが主体的に取り組めるようワークショップ形式を導入する。</li> </ul> <p>(各市1回)</p> <p>(2) 弘法川災害対策現地研修会【新規】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「弘法川内水被害対策研究会」の協議を踏まえ、豪雨災害を経験していない地域の防災リーダー等にも弘法川の状況を現地で確認し、水害の発生状況や森林保全の重要性などを学ぶとともに、公共事業での災害対策の役割を理解することにより、地域の防災意識を高める。</li> </ul>			
担当部・室名	企画総務部 総務室	部・室・電話番号	0773-62-2500

平成28年度当初予算案主要事項(平成27年度2月補正予算含む)説明

京都府中丹広域振興局

事 項 名		⑳当初予算額	㉑当初予算額
(新規・継続・ <b>拡充</b> )		450千円	200千円
ほっとはあと輝き事業費		特定財源	
		一般財源	450千円
趣旨・目的	障害のある人の働く意欲向上を支援		
<p>■ 中丹「ほっとはあと」製品輝きプロジェクト</p> <p>障害のある人の働く意欲向上を支援するため、中丹「ほっとはあと」製品の付加価値向上や販路拡大・販売促進の取組を支援する。</p> <p>(1) 付加価値向上の支援</p> <p>①商品企画、マーケティングに係る研修会</p> <p>②中丹の特色等を生かした新商品開発等の支援</p> <p>(2) 販路拡大・販売促進の支援</p> <p>①京都ほっとはあとセンター中丹ブロック連携会議の開催</p> <p>②企業等への製品売り込みや自治会等への協力依頼</p> <p><b>臨</b>③ほっとはあと事業所・製品紹介カタログの作成(改定版)</p>			
担当部・室名	健康福祉部 中丹西保健所 福祉室 中丹東保健所 福祉室	部・室・電話番号	0773-22-3903 0773-75-0856

平成28年度当初予算案主要事項(平成27年度2月補正予算含む)説明

京都府中丹広域振興局

事 項 名	⑳当初予算額	㉑当初予算額
(新規 <b>継続</b> 拡充) 中丹環境ネットワーク事業費	250千円 特定財源 一般財源 250千円	250千円 250千円
趣旨・目的	環境活動を推進するための、NPO、有識者、行政（府、市等）による中丹環境ネットワークの構築	
<p>管内の事業者（長田野工業団地、綾部工業団地等）の環境活動を推進するため、NPO、有識者、行政（府、市等）による中丹環境ネットワークを構築し、事業者の必要な対策等について検討し、各種課題解決を図る。</p> <p><b>【事業内容】</b></p> <p>(1) 中丹環境ネットワーク登録者の拡充                      長田野工業団地、綾部工業団地等の事業者を中心に登録者を拡充し、NPO、有識者、行政（府、市等）のネットワークとする。</p> <p>(2) 環境情報の発信                      登録者に対する環境情報（最新の法令改正、イベント情報等）の発信</p> <p>(3) アンケート調査の実施                      登録者の具体的な課題、必要な対処方法等、ニーズを把握</p> <p>(4) ワーキングチームの開催                      アンケート調査結果により、登録者のニーズに即したワーキングチームを設け、登録者（長田野工業団地、綾部工業団地等）、NPO、有識者、行政（府、市等）等、各主体の参加により実施（年1回程度）                      ワーキングチームで得られた有益なノウハウ等を中丹管内事業者に広く発信</p> <p>(5) アドバイザー（ゼロエミッション・省エネ）の派遣                      登録者のニーズに応じ、実施</p>		
担当部・室名	健康福祉部 中丹西保健所 環境衛生室 中丹東保健所 環境衛生室	部・室・電話番号 0773-22-6382 0773-75-1156

平成28年度当初予算案主要事項(平成27年度2月補正予算含む)説明

京都府中丹広域振興局

事 項 名		⑳当初予算額	㉑当初予算額
(新規 <b>継続</b> 拡充)		400千円	400千円
いきいき元気に活躍する中丹健康づくり推進事業費		特定財源	
		一般財源	400千円
趣旨・目的	高齢者元気づくりメニューの普及により「高齢者の元気を支援」！		
<p>高齢者等の健康づくりの大切なポイント「食生活・運動機能・人との繋がり」の向上を踏まえた、高齢者元気づくりメニューの普及とともに、各機関の健康増進プログラム担当者のネットワークの強化を図り、地域全体でいきいき元気に活躍する中丹健康づくりを推進する。</p> <p>(1) 高齢者元気づくりメニューの普及</p> <p>① 簡単健康づくり体操の普及啓発 転倒防止や日常の生活動作を楽にする簡単な体操(もしカメ体操等)と各地域で考案された介護予防体操を各市と協働し普及</p> <p>② 中丹健康づくり食生活の普及 健康づくり定食「これであなたも元気定食」、「野菜たっぷり塩少(エコ)レシピ」を、地域の健康づくり案内人である食生活改善推進員等と協働して普及啓発。</p> <p>(2) 健康づくりの中核となる人材の育成(ソーシャルキャピタルコアメンバー育成)</p> <p>① 「我がまち生涯活躍! 作戦ミーティング」の開催 ・対象者: 各市健康づくり事業及び介護予防事業の担当者、介護保険事業所・社会福祉協議会・地域で活動するNPO等 ・講師: 健康づくり先進地で政策企画に参画した大学教授等 ・内容: 健康づくり先進地のノウハウを学び、各市の状況に応じた効果的な健康づくり事業の企画立案</p> <p>② ワークショップの開催 ・対象者: 各市健康づくり事業及び介護予防事業の担当者、各関係機関職員等 ・内容: 健康づくり実践の報告、効果的な教育媒体等意見交換</p>			
担当部・室名	健康福祉部 中丹西保健所 保健室 中丹東保健所 保健室	部・室・電話番号	0773-22-6381 0773-75-0806

平成28年度当初予算案主要事項(平成27年度2月補正予算含む)説明

京都府中丹広域振興局

事 項 名		⑳当初予算額	㉑当初予算額
(新規 <u>継続</u> 拡充)		525千円	875千円
大丹波連携推進事業費		特定財源	
		一般財源	525千円
趣旨・目的	丹波ブランドを活用した広域連携・交流を促進		
<p>1 趣旨 京都府及び兵庫県にまたがる丹波地域の知名度向上と、更なる観光客誘致、丹波ブランドの振興を推進するため、大丹波連携推進協議会（府県、関係7市町により設置）による連携した取組を展開する。</p> <p>2 事業内容</p> <p>(1) 観光情報の発信による誘客促進</p> <p>①高速道路の整備でより近くなった中京圏からの誘客 ・中京圏での情報発信やメディア関係者等へのPR実施</p> <p>②京阪神からの誘客や地域内交流の促進 ・大丹波味覚フェアや地域イベント等を活用したPR</p> <p>③口コミ情報等の発信とファン拡大 ・ホームページやfacebookによるテーマ性のあるタイムリーな情報発信 ・観光サポーターを広く公募し、口コミ等による情報発信促進</p> <p>(2) 丹波ブランド農産物の生産・販売の振興</p> <p>①丹波くりのブランド力の強化 ・「丹波くり」のブランド力強化の研究と取組を検討</p> <p>②小豆等に係る情報交換会等の開催 ・小豆等の生産振興、品質向上対策について情報交換を行う。</p> <p>③大丹波味覚フェアの開催 ・京阪神地域の商業施設で農林産物等の試食・販売による魅力発信</p> <p>④大丹波マルシェの開催 ・京阪神地域のSA・PA等で農林産物や地域特産品の販売・PRイベントを実施</p>			
担当部・室名	企画総務部 農林商工部	企画振興室 企画調整室 商工労働観光室 森づくり推進室	部・室・電話番号 0773-62-2031 0773-62-2508 0773-62-2506 0773-62-2586

平成28年度当初予算案主要事項(平成27年度2月補正予算含む)説明

京都府中丹広域振興局

事 項 名		⑳当初予算額	㉑当初予算額
(新規) <b>継続</b> (拡充)		2,800千円	2,800千円
中丹ふるさと再生推進事業費		特定財源 <b>基</b> 2,800千円	2,800千円
		一般財源	
趣旨・目的	都市農村交流等によるふるさと保全、地域活性化活動の推進		
<p>1 趣 旨</p> <p>「中山間ふるさと保全基金」を活用し、過疎化・高齢化の進展する管内農山村集落の活性化に向けた都市農村交流活動や地域活性化構想(村おこしビジョン)作成等、地域からの自主的な取り組みを支援し、農業農村の有する多面的機能・公益性の府民理解の拡大や、地域支援者による継続性のある自主的な支援活動を通じて、地域活性化の推進を図る。</p> <p>2 事業内容</p> <p>■ ふるさと保全自主企画 (農村の魅力、地域の活力を高める地域による企画)の支援</p> <p>(1) ふるさとボランティア活動 農地や農業用施設の維持保全活動等を非農家や都市住民が農家と一緒にを行う活動を支援</p> <p>(2) ふるさと発見隊活動 都市住民や地域の子どもたちが、農業・農村の役割、歴史、文化や農村の豊かな生態系についての体験学習を通じて、農村やふるさとに対する愛着を高める活動を支援</p> <p>(3) ふるさと保全ワークショップ活動 村おこしビジョン策定等のためのワークショップを実施</p> <p>■ 情報発信 都市農村交流活動のリーフレット「農山漁村ふるさと体験塾」を作成し、都市部を中心に情報発信</p>			
担当部・室名	農林商工部 地域づくり推進室	部・室・電話番号	0773-62-2505

平成28年度当初予算案主要事項(平成27年度2月補正予算含む)説明

京都府中丹広域振興局

事 項 名		⑳当初予算額	㉑当初予算額
(新規 <u>継続</u> 拡充)		100千円	80千円
中丹ふるさとを守る絆ネット推進事業費		特定財源	
		一般財源	100千円
趣旨・目的	農村と地元企業をつなぎ、安心安全な社会や地域活性化を推進 ～地元企業だからできる社会貢献～		
<p>1 趣 旨</p> <p>特に過疎・高齢化が進行する中丹地域の農村住民の安心・安全の確保や生きがいつくりのため、農村と企業等を結ぶ絆づくりを推進し、農村の維持活性化を図る。</p> <p>2 事業内容</p> <p>地域住民、行政(府、市)及び企業等が連携(協定締結)し、“見守り活動”や“農村交流活動”を展開し、地域の安心安全な暮らしの確保や農村の活性化に資する。</p> <p>(1) 見守り活動： 企業等が配達時に住民の日常生活の異変等を発見し、行政機関に連絡する体制を構築。 【活動事例】 住民宅への商品配達や検針時等において、住民の生活に異変がないか気を配り、異変を察知したら行政へ連絡</p> <p>(2) 農村交流活動： 企業等が地域、集落の維持活性化に資する交流活動を実施。 【活動事例】 農道等の草刈りや農業用水路の補修等を企業ボランティアで住民と協働実施。</p> <p>3 対象団体(企業等)</p> <p>府内で事業活動を行い、過疎高齢化の進む中丹地域の支援に熱意ある企業、法人、NPO、その他団体等</p> <p>4 京都府(中丹広域振興局)の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加企業等の募集 → ホームページやチラシ等による事業PR</li> <li>・応募企業等と関係市との調整 → 協定内容、締結者。締結式等の協議・調整</li> <li>・協定締結業務 → 協定書の作成や締結式の開催等</li> <li>・活動の支援 → 農村交流活動の応援や公認グッズの提供等</li> <li>・事業や活動実績等の広報 → 協定締結や活動実績等の広報</li> </ul>			
担当部・室名	農林商工部 地域づくり推進室	部・室・電話番号	0773-62-2505

平成28年度当初予算案主要事項(平成27年度2月補正予算含む)説明

京都府中丹広域振興局

事 項 名		⑳当初予算額	㉑当初予算額
(新規 <u>継続</u> 拡充)		250千円	1,400千円
「丹波くり」ブランド・アップ支援事業費		特定財源	
		一般財源	250千円
趣旨・目的	「丹波くり」の新たな担い手の育成と品質の高い丹波くりの増産		
<p>1 新たな担い手の育成（新規）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「丹波くり」増産のため、新規就業者を対象に生産から経営までを学ぶ「丹波くり新規就業者支援講習会」を開催</li> </ul> <p>2 品質の高い丹波くりの増産（継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高値で取引される、良質で大粒な「丹波くり」を生産するため、せん定や接ぎ木など「講習会」を開催</li> </ul>			
担当部・室名	農林商工部 森づくり推進室	部・室・電話番号	0773-62-2586

平成28年度当初予算案主要事項(平成27年度2月補正予算含む)説明

京都府中丹広域振興局

事 項 名		⑳当初予算額	㉑当初予算額
(新規・継続) <b>拡充</b> 「丹州材」による木の家づくり促進事業費		1,200千円	545千円
		特定財源	
		一般財源	1,200千円
趣旨・目的	府民や建築関係者への「丹州材」利用の働きかけと木材供給者との連携促進		
<p>1 丹州材の利用を拡大する連携促進（継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 木材生産から加工・流通・設計・建築までの関係者が連携し、丹州材を利用しやすい環境を整備するとともに、利用拡大に取り組む「丹州材供給・利用促進会議」を定期開催</li> </ul> <p>2 木材利用に秀でた技術者の育成（拡充）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 木材供給から構造計画、法規制、メンテナンスまでを学習する「木づかい塾」を開催（3回シリーズ）</li> <li>・ 行政関係者(営繕・教育部局)を対象に、材工分離発注方式等を学ぶ講座を開催（2回シリーズ）</li> </ul> <p>3 丹州材利用の機運を醸成（新規）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 緑の工務店が合同で出店し、府民に建築事例や木製品等をPRする「木づかいフェア」を開催（3回）</li> </ul>			
担当部・室名	農林商工部 森づくり推進室	部・室・電話番号	0773-62-2586

平成28年度当初予算案主要事項(平成27年度2月補正予算含む)説明

京都府中丹広域振興局

事 項 名		⑳当初予算額	㉑当初予算額
(新規・継続・ <u>拡充</u> )		900千円	600千円
竹林整備・活用ネットワーク化事業費		特定財源	
		一般財源	900千円
趣旨・目的	地域等が連携した放置竹林整備と竹材の利用拡大等の取組を推進		
<p>1 放置竹林の解消による里山景観の保全（継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 放置竹林の解消と竹材利用を進めるため、「竹林整備・竹活用ネットワーク協議会」の活動を支援</li> <li>・ 地域で竹林整備に取り組む人材を育成するため、知識・技術を習得する「竹のしごと人」育成セミナーを開催</li> </ul> <p>2 里山資源（タケ）を宝に変え、魅力度をUP（新規）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 竹材の農業分野での利用促進のための生産・加工コストの検証や有効成分分析など、新たな用途開発や販路を開拓</li> </ul> <p>3 里山資源（タケ）の魅力を発信（拡充）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 放置竹林の解消やタケの魅力を広く府民に発信する「竹の交流大会」を開催</li> <li>・ 金剛院のライトアップ時の竹灯ろうや竹ドームの設置、竹農法収穫祭の開催など、府民への啓発イベントを開催</li> </ul>			
担当部・室名	農林商工部 森づくり推進室	部・室・電話番号	0773-62-2586

平成28年度当初予算案主要事項(平成27年度2月補正予算含む)説明

京都府中丹広域振興局

事 項 名		⑳当初予算額	㉑当初予算額
(新規) 継続・拡充) 野生鳥獣被害対策担い手育成事業費		150千円	
		特定財源	
		一般財源	150千円
趣旨・目的	鳥獣被害の低減による里山資源の保全		
<p>狩猟免許取得者の増加と防除対策や捕獲の技術力向上により、捕獲の強化と合わせ地域ぐるみの防除体制を確立し、農業被害の低減を目指す。</p> <p>1 狩猟免許取得者の拡大                      (1) 「狩猟免許」受験の裾野を広げるためのチラシ配布                      対 象 : 自治会・企業・自衛隊等                      配布枚数 : 7,000枚</p> <p>2 地域ぐるみの防除体制の確立                      (1) 防除対策セミナーの開催 及び 狩猟技術向上セミナーの開催 3回                      内容: 防護柵の点検補修や地域ぐるみの防除を進めるポイントを講習                      対象: 農事組合代表者、狩猟初心者及び狩猟に関心のある方 150名                      会場: 福知山市、舞鶴市、綾部市 (予定)</p> <p>(2) 被害農家への巡回指導                      内容: 防護柵点検管理の現地指導を実施</p>			
担当部・室名	農林商工部 森づくり推進室	部・室・電話番号	0773-62-2593

平成28年度当初予算案主要事項(平成27年度2月補正予算含む)説明

京都府中丹広域振興局

事 項 名		⑳当初予算額	㉑当初予算額
(新規) <b>継続</b> (拡充)		550千円	550千円
中丹パートナーシップセンター事業費		特定財源	
		一般財源	550千円
趣旨・目的	行政とNPO等とのパートナーシップの強化による地域力の推進		
1 趣 旨	<p>中丹地域における地域活動を行うNPO、地域団体等による相互のネットワークや活動基盤の充実を図るとともに、行政、企業や大学と連携した取組により、さらなる地域活動の活性化を図る。</p>		
2 事業内容	<p>■ NPO法人や地域活動団体のニーズにあったパートナーシップセンター事業の展開</p> <p>① 運営協議会の運営 ・ 3市や民間団体とともに団体のニーズにあった更なる支援について検討</p> <p>② 団体の運営支援 ・ 中間支援団体と連携した支援事業の展開（マネジメント講座等各種講座の実施）</p> <p>③ 交流の場づくり ・ 団体同士の交流や新たなネットワークづくりを目的としたテーマ別交流会、活動事例発表会などを開催</p> <p>④ 魅力情報の発信 ・ NPOや地域活動団体等の魅力的な取組や活動支援のためのノウハウ、イベントなどの情報を発信 （中丹パートナーシップセンターのホームページ等の活用、情報コーナーによるPR展示、パンフ等の配架） ・ センター事業や団体の活動紹介のための「中丹元気づくり通信」の作成</p>		
担当部・室名	企画総務部 企画振興室	部・室・電話番号	0773-62-2031

平成28年度当初予算案主要事項(平成27年度2月補正予算含む)説明

京都府中丹広域振興局

事 項 名		⑳当初予算額	㉑当初予算額
(新規 <b>継続</b> 拡充)		3,125千円	1,700千円
中丹“絆”フェスタ事業費		特定財源	
		一般財源	3,125千円
趣旨・目的	地域団体等と連携し、中丹の地域性を活かしたフェスタの開催		
<p>■中丹“絆”フェスタの開催                      地域団体等と連携したステージや「海・森の京都」などのPR、府政に関する展示などを行う「中丹“絆”フェスタ」を開催（舞鶴市内で開催予定）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地元の子どもや地域団体と連携したステージなど</li> <li>・ 中丹太鼓おもてなし隊“絆”との連携</li> <li>・ 地域団体による地域特産物満載のテント市を開催</li> <li>・ 京都丹波ジビエなど中丹の食によるグルメブース</li> </ul> <p>【参考】平成27年度の開催状況「海の京都 中丹“絆”フェスタ」                      〈開催日〉平成27年11月14日（土）前夜祭 中丹BISTRO JAZZ@海の京都                      15日（日）                      〈会 場〉舞鶴赤れんがパーク                      〈来場者〉14日：約300人、15日：約4,800人                      〈その他〉15日（日）：まいづる赤れんが地場産市場と同時開催</p>			
担当部・室名	企画総務部 企画振興室	部・室・電話番号	0773-62-2031

平成28年度当初予算案主要事項(平成27年度2月補正予算含む)説明

京都府中丹広域振興局

事 項 名		⑳当初予算額	㉑当初予算額
(新規 <b>継続</b> 拡充)		1,800千円	1,800千円
広報紙「明日の中丹」発行費		特定財源	
		一般財源	1,800千円
趣旨・目的	施策等を周知するための広報紙（「明日の中丹」）の発行		
<p>■府民周知などの実施                      広報紙「明日の中丹」（地域ガイド）の発行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サイズ タブロイド版2ページ（両面）</li> <li>・紙面内容 各部局の主な事業の特集                      管内府機関事業紹介・イベント募集案内                      中丹管内府民向け啓発</li> </ul>			
担当部・室名	企画総務部 企画振興室	部・室・電話番号	0773-62-2031

平成28年度当初予算案主要事項(平成27年度2月補正予算含む)説明

京都府中丹広域振興局

事 項 名		⑳当初予算額	㉑当初予算額
(新規 <u>継続</u> 拡充)		500千円	500千円
中丹地域戦略会議開催費		特定財源	
		一般財源	500千円
趣旨・目的	「明日の京都」中丹地域振興計画を着実に推進するため、外部有識者の意見を聴取することを目的に中丹地域戦略会議を開催		
<p>「明日の京都」中丹地域振興計画の進捗、推進及びベンチマークレポート等への助言</p> <p>(年間2回予定)</p> <p>①8月頃 主な協議事項：ベンチマークレポート（計画進捗状況）委員施策提案 等</p> <p>②3月頃 主な協議事項：次年度当初予算報告 等</p>			
担当部・室名	企画総務部 企画振興室	部・室・電話番号	0773-62-2031

平成28年度当初予算案主要事項(平成27年度2月補正予算含む)説明

京都府中丹広域振興局

事 項 名		⑳当初予算額	㉑当初予算額
(新規 <b>継続</b> 拡充)		300千円	300千円
中丹地域課題解決・広域連携事業費		特定財源	
		一般財源	300千円
趣旨・目的	振興局と管内3市をはじめとする北部連携都市圏との意思疎通を進め、地域の課題解決に向けて連携した取組の強化を図る		
<p>過疎高齢化や地域産業の衰退など、共通する課題を解決するため、振興局と北部連携都市圏の協働・連携を図る。</p> <p>■ 振興局・管内3市職員交流会、管内3市円卓会議の実施</p> <p>① 振興局・管内3市職員交流会 広域連携事業の具体化・実施に向けて、振興局や管内3市の職員等による交流会を開催し、振興局・各市間の相互理解を深め、北部連携都市圏との連携などの今後の取組の促進を図る。</p> <p>② 円卓会議の開催 振興局長と3市長等の円卓会議を開催し、管内における諸課題について、情報共有や検討を行うことにより、今後の施策に反映させる。</p>			
担当部・室名	企画総務部 企画振興室	部・室・電話番号	0773-62-2031

平成28年度当初予算案主要事項(平成27年度2月補正予算含む)説明

京都府中丹広域振興局

事 項 名		⑳当初予算額	㉑当初予算額
(新規・継続・拡充) 茶どころ中丹魅力発信事業費		800千円	
		特定財源	
		一般財源	800千円
趣旨・目的	中丹のお茶の認知度アップと新商品開発の支援		
<p>宇治茶を支える中丹のお茶について、その良さを広く府民に知ってもらい、お茶への理解を深めるとともに、新たな商品開発を支援する。</p> <p>(1) 茶どころ中丹の魅力を発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・セミナー・茶会・茶香服大会・日本茶カフェなど消費者が楽しくお茶にふれることのできる機会を創出                          実施団体：茶業青年団など                          実施内容：出品茶の試飲など</li> <li>・宇治茶の一翼を担う中丹のお茶を各種イベントでPRし、中丹がお茶処であることを発信                          【JA新茶まつり、各市産業まつり、各種農業イベント等で併設開催】</li> <li>・各種イベントで中丹のお茶を広くPRするため、のぼり、チラシ等を作成する。</li> </ul> <p>(2) 抹茶スイーツ創作で新たな消費発掘</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中丹産てん茶を原料とした抹茶を中丹管内の菓子店舗等に提供し新商品の開発を支援</li> <li>・新商品は各種イベントで披露、試食を実施</li> </ul> <p>(3) 援農隊制度を活用した中丹のお茶サポーターの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・セミナーや茶会等の開催時に、出品茶の摘み子を募集（摘み子登録制度の創設）</li> </ul>			
担当部・室名	農林商工部 企画調整室	部・室・電話番号	0773-62-2508